

書道 (Art of Calligraphy)

本科	選択・必修	開設時期	単位数	授業形態	担当
一般科目	必修	2年	2	演習	佐伯 喜誠

【授業の概要】

書の歴史を踏まえ、規範となる古典から書の表現、観賞更には創作性まで発展させ、書に親しみを持ち、心豊かな人間性を養ってゆく。

【授業の進め方】

書道史の流れに沿って各書体を順次マスターし、添削指導、創作性まで加味し評価する。更に、展覧会に出品し、書への意欲と情熱を養成する。

【授業の概要】	【授業項目】	【内容】
1回	書の概略について	書の歴史について
2回	書写から書道へ	執筆法・姿勢・書道用語・色々な線による表現
3回	九成宮醜泉銘の臨書	点画の接し方、空間の取り方、背勢と引き締まった線の書き方。
4回	孔子廟堂碑の臨書	格調の高さと向勢、伸びやかで温かみのある線の鍛錬。
5回	雁塔聖教序の臨書	巧みな用筆法と、運筆の変化（筆の弾力）の習得
6回	自書告身帖の臨書	重厚な線の向勢、縦画、横画の太さや払いなどの筆使い。
7回	牛獮造像記の臨書	方筆の筆法の習得
8回	鄭義下碑の臨書	円筆の筆法の習得
9回	楷書のまとめ	唐代の代表楷書の用筆、運筆、字形のまとめ。 臨書から傲書への展開
10回	蘭亭序の臨書（神龍半）	線の抑揚と、筆脈の一貫性、字形の変化と空間処理
11回	争坐位文稿の臨書	躍動と力感、細太、軽重、遅速、緩急の運筆法
12回	風信帖の臨書（第一通）	どっしりとした線質、重厚さと軽妙さの調和
13回	行書のまとめ	行書の特徴と用筆、字形のまとめ 臨書から傲書への展開
14回	十七帖の臨書	気骨のある力強い書の特性と断筆の用筆法
15回	書譜の臨書	点画の省略と多様の草書
16回	草書のまとめ	草書の用筆法のまとめ。臨書から傲書への展開
17回	乙瑛碑の臨書	造形美と整正美、骨格、筆力の強さなどの表現と重厚で粘り強い線の運筆法
18回	曹全碑の臨書	八分隸の極限と波磔の美しさ
19回	隸書のまとめ	逆筆、蔵法、波勢、波磔などの運筆法
20回	泰山刻石の臨書	斉整で品格の高さ、雄健な筆力
21回	石鼓文の臨書	整齊された字形と渾厚な線の表現
22回	篆書のまとめ	篆書用筆法のまとめ
23回	仮名の単体と連綿	仮名の成立、仮名の用筆法など
24回	変体仮名	源字の省略過程の理解と読解
25回	高野切第三種の臨書	文字幅、字形、線質、墨継ぎ、渴筆部の連綿

26回	高野切第一種の臨書	懐の広い字幅、連綿の巧妙さ、線の細大				
27回	漢字・仮名交じり書 1	古典から漢字と仮名の融合と調和				
28回	漢字・仮名交じり書 2	短歌、俳句、詩文などの創作作品				
29回	漢字・仮名交じり書 3	座右の銘の創作、色々な形式の作品作り				
30回	実用の書	封書、葉書、のし袋の書き方				
【到達目標】	楷・行・草・篆・隷書体および仮名の基礎から漢字かな交じり書の習得					
【徳山高専学習・教育目標】	C2		【J A B E E基準 1(1)】			
【評価法】	毎時の清書評価点 (5 0 %) 創作作品評価点・展覧会成績 (4 0 %) 平常点 学習への取り組みや協調性 (1 0 %)					
【テキスト】	教育図書：書Ⅰ 適宜プリント配布 書の古典資料集					
【関連科目】						
【成績欄】	前期中間試験 【 】	前期末試験 【 】	前期成績 【 】	後期中間試験 【 】	後期末試験 【 】	学年末成績 【 】